

令和6年5月30日

理事長 殿

2023年度 特定課題研究費研究報告書

研究代表者	所属	一般科目（品川）	職	教授	氏名	田村 健治
研究分担者	所属		職		氏名	
	所属		職		氏名	
	所属		職		氏名	
研究課題名	(和文) 地域連携と社会貢献を基盤とするSDGs啓発と学校広報を指向した教育的催事の開発 (英文) Development of educational events toward dissemination of SDGs (sustainable development goals) and school public relations based on regional cooperation and social contribution					
研究種目	教育課題研究					
研究実績の概要						
<p>出前・受入授業、体験入学（化学1日体験入学）、学校見学会、OPC講座、若手技術者支援講座、豊島区立目白庭園めじろアートタイム講座、技術相談など、幅広い年齢層や多様な受講目的の受講生を対象とした様々な教育的催事において教育・指導を継続している。SDGs啓発の観点に符合する知識やスキルとして、一例を挙げると、食料となる物質のうち、可食部以外の部分の利活用や賞味期限を超過した可食不可能な食品類の食用以外の有効活用法開発の一環として、新たに別用途における原材料として用いる実験あるいは講義の実践により、食糧問題に対する理解と身近な取組の検討を推奨してきている。本申請研究課題では、これらの食糧問題・廃棄物削減あるいは再利用問題についても更なる充実を図った。これらの教育的催事の多くは、化学の知識で暮らしを豊かにすることを目的として運営してきたが、この目的にSDGs的な思考や発想を取り入れて、実験あるいは講義内容を刷新あるいは改良を推進させた。すなわち、これまでに開発してきた演題について、SDGs的観点からの環境問題の正しい理解と身近な取組の検討を導入した。これらの様々な教育的催事は、本校における出前・受入授業、OPC講座あるいは若手技術者支援講座などの実施に留まらず、近隣の自治体や公共施設などから継続する講座開講要請においても柔軟に対応し、地域連携ならびに社会貢献を基盤とする教育的催事の企画・運営の責務を果たす学校広報事業として有効な展開を達成する新たな事業の骨子となるものと確信する。当該実績は以下の通りである。OPC講座主催：6件、若手技術者支援講座分担：1件、体験入学主催：2題目、模擬授業主催：1件、出前受入授業等主催：のべ36講座・受講者約832名</p>						
研究発表（論文、著書、講演等）						
① 国際会議発表：査読付き1件採択 International Food Machinery & Technology Exhibition（印刷中）。 ② 国内学会講演：4件 化学工学会第54回秋季大会(福岡), R207,(2023). 2023電気化学会秋季大会(福岡), S11_2_12,(2023). 電気化学会第91回大会(名古屋), S17_1_12,(2024). 化学工学会第89年会(堺), H202,(2024).						
その他（教育活動・OPCへの貢献、特許等）						
① OPC講座主催：6件、若手技術者支援講座分担：1件、体験入学主催：2題目、模擬授業主催：1件、 出前受入授業等主催：のべ36講座・受講者約832名 実施 ② 競争的研究助成金の取得：公募型1件採択 ③ 技術相談 品川区-産技高専連携：3件、品川区ビジネスカタリスト：2件、文科省：多数対応 ④ その他の社会貢献：学会・自治体などの役員・論文査読委員・審査員・座長等 （以上、詳細は校務支援システムに登録済み）						